

～航空局からのお知らせ～

★火山灰に関する各種情報のご紹介 ～気象庁より～

気象庁火山監視課（東京航空路火山灰情報センター：東京 VAAC）です。

火山灰が航空機の運航に与える影響は以下のように多岐にわたります。

- ・火山灰が航空機のエンジンに吸い込まれエンジンが停止する
- ・操縦席の風防ガラスに火山灰が衝突し、擦りガラス状になり視界が利かなくなる
- ・火山灰が飛行場に堆積すると離着陸できなくなる

これら火山灰によって引き起こされる航空機の災害を避けるため、東京 VAAC では 24 時間体制で火山灰の監視を行い、各気象台からの噴火情報や衛星によって火山灰を検知した場合は速やかに航空路火山灰情報（VAA）等を発表し、運航者や航空局等へ注意喚起を行っています。

最新の発表状況は東京 VAAC のホームページにて確認することができますので、飛行前にはぜひご確認ください。

- ・東京 VAAC ホームページ（最新の発表状況）

https://www.data.jma.go.jp/vaac/data/vaac_listj.html

東京 VAAC が発表する主な情報は以下のとおりです。

1. 航空路火山灰情報（VAA）

火山灰の実況及び分布予測（6、12、18 時間先を予測）を示すテキスト形式の情報です。

2. 火山灰拡散予測図（VAG）

火山灰の実況及び分布予測（6、12、18 時間先を予測）を示す図情報です。

3. 火山灰実況図（VAGI）

火山灰の高度、分布範囲などの実況を示す図情報です。

4. 狭域拡散予測図（VAGFN）

国内の火山が噴火した場合の火山灰の分布予測（1 時間毎に 6 時間先までを予測）を高度別に示す図情報です。

5. 定時拡散予測図（VAGFNR）

噴火の可能性が高い火山について、噴火を仮定して計算された火山灰の分布予測（1 時間毎に 6 時間先までを予測）を示す図情報です。

6. 定時拡散・降灰予測図（VAGFNR-AF）

噴火の可能性が高い国内の火山について、噴火を仮定して計算された大気中の火山灰及び降灰の分布予測（1 時間毎に 3 時間先までを予測）を高度別に示す図情報です。

上記 1～4 は噴火が発生した後に発表する情報ですが、5 と 6 は仮に今の気象状況で噴火が発生した場合にどの領域に影響が及ぶかが予め分かる情報となっているため、突発的な噴火の際の備えとしてご活用ください。

各種情報の詳細を知りたい場合は以下ホームページをご参照ください。

・東京 VAAC ホームページ (情報の説明)

https://www.data.jma.go.jp/vaac/data/Inquiry/graphic_and_dispersionj.htm

東京 VAAC では航空機の安全な運航のため、引き続き適切かつ的確な情報発表や提供に努めてまいります。

本件についてご不明な点等がございましたら、気象庁地震火山部火山監視課（電話 03-6758-3900 内線 5194）までお問い合わせください。

国土交通省 航空局 安全部安全政策課

MAIL : hqt-kogataki@mlit.go.jp

TEL : 03-5253-8111 (内線 50135・50136)

小型機安全担当

～X (旧 : Twitter) もやっています～

https://twitter.com/mlit_kogataki
